



那覇市制施行90周年記念

広報

なはし市民の友



第727号 毎月1回発行
2011年(平成23年)

8月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2011(平成23)年6月末現在	
総人口	319,139 (2,137)
男	153,983 (1,080)
女	165,156 (1,057)
世帯数	137,502 (1,251)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 丸正印刷(株)

来年度(平成24年度)の実績がこれらの目標値を達成できなかった場合、平成25年度には市の国保財政から高齢者医療へ支払っている支援金が最大10%増額して支払わ

目標値

- ① 特定健診の受診率を**65%**
- ② 特定保健指導実施率を**45%**
※健診結果により、生活習慣の改善が必要な方への保健指導
- ③ メタボリックシンドロームの該当者および予備群(特定保健指導対象者)の減少率**10%以上**



国から課せられた3つの目標値
糖尿病など生活習慣病の増加などにより、国民の医療費が年々増加しています。国はこのような現状から生活習慣病を予防することで、医療費を抑えようと平成20年度から各保険者に「特定健診・特定保健指導」を義務付け、合わせて次の目標値を定めました。

国から課せられた3つの目標値

生活習慣病の予防、早期発見のための「特定健診」。市民の健康づくりを支える大切な健診ですが、国の課した受診率などの目標値の達成状況によっては、市国保財政に大きなペナルティーも…。
本市の場合、その影響額は、なんと約4億3千万円に！最終的には市の財政と国保税で負担しなければなりません。その結果、国保税に影響を及ぼすことも考えられます。
3年前から、翁長市長自ら受診を呼びかける手紙をお送りしましたが、いよいよ「特定健診」がピンチです。再度、みなさんに受診の協力を呼びかけますが、いよいよ「特定健診」を含む健診制度について、詳しくは5ページの「ご存知ですか？あなたが利用できる健診制度」をご覧ください。

国保のみなさん、
この機会に受診を！
のペナルティー!?
国保税に影響が?

4億3千万円

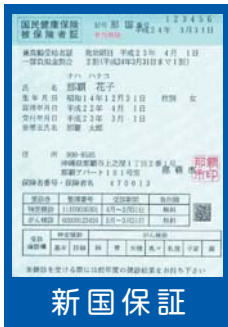
特

お問い合わせ
特定健診課
☎862-0564



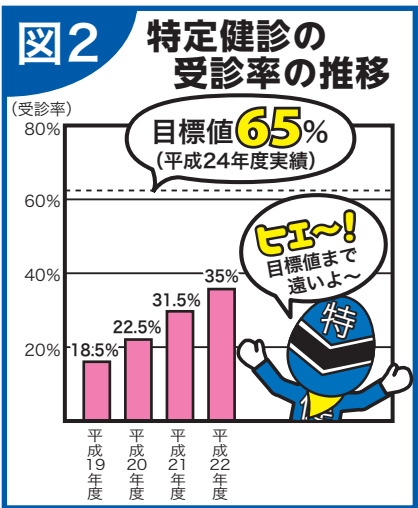
ければならず、額にすると約4億3千万円(1人あたりだと約4千円)のペナルティーが課せられます。
逆に目標値を達成した場合は、支援金が最大10%減額される仕組みのため、目標達成できると、できないとでは市の国保財政に約8.6億円もの差が生じます。(図1)

全国自治体初！国保証と受診券の一体型で健診が受けやすく便利に
平成23年度から全国で初めてとなる、国保証と各種健診(検診)の受診券が体になった新国保証の交付を開始しました。
これにより、国保証を提示するだけで健診(検診)を受けることができます。
また市内には、予約なしで受診できる病院が70か所あり、ちょっとした空き時間を利用しての受診も可能です。自己負担はありません。



新国保証

なぜ、特定健診が必要なのか
「特定健診」は、市民の健康づくりを支援する大切な健診です。メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)だけではなく、腎臓や肝臓の機能障害も発見することができます。さらに、メタボの方は、生活習慣の改善により生活習慣病の予防、重症化を回避できます。体が健康だと豊かな充実した人生が送れて、みなさんにとってもプラス。医療費もかからず市の財政にとってもプラスになるなど良いことづくしです。
「自身の健康づくりのため是非、毎年特定健診を受診してください。」



市国保の平成22年度の受診率は、35%前後に達する見込みで、制度開始前の平成19年度の住民健診(18.5%)と比較すると、約16ポイント伸びています。しかしながら目標値65%達成には、厳しい状況です。(図2)

心に寄り添った学習支援
Q 児童・学校からの反応は
学校からは、ますます要望が増えています。6年前に3校からスタートしたこの活動は、現在13校にまで広がっています。私たち自身も現場にいた時からこういうボランティアがあったらいいなとずっと思っていた。思いがけず、今では「毎週楽しみにしている」と言ってくれます。

Q ゆうゆう会とは
会の名称のとおり、教育支援のボランティア活動を行うために、教員を退職したメンバーが集って立ち上げました。
現在は、地域や学校と一体となって子育てや学習面の教育活動を支援しています。
Q 具体的にはどのような活動を
教育現場からの要請に基づいて学校を支援しています。
少し支援が必要な子、もう少し後押ししたら学習内容が理解できる子、あるいは少し心のケアが必要な子、個別に手助けを必要とする子。このような子どもたちの学習支援を行っています。



教育支援ボランティアゆうゆう会
会長 上運天 洋子さん(右)、事務局長 永山カヨ子さん(左)



1人ひとりの考え方やつまづいているポイントに対して、子どもの様子を見ながら丁寧に指導しています。教科としては、国語、算数が多いそうです。

Q 今後の計画について
学校からの要望は多いのですが、残念ながら、会員だけではすべてに対応できていません。教育支援ボランティアは退職した教員だけではなく、一般の方でも読み聞かせなど出来る方がたくさんあります。より多くの子どもに対応していきけるように協働大使の交流を通して、もっと同じ活動ができる仲間を増やしたい。一人ひとりの子どもたちの心に寄り添って育ってほしいと思っています。



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第9回 ゆうゆう会

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846

夏本番! 熱中症に気をつけよう。 のどが渴いたと感じる前に水分補給を!!